

コード	304011901
記入日	H21.6.8

事務事業途中評価表

課コード	112
課名	こども課
課長名	前田喜代美
担当者	岩下礼子

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	児童館運営事業	事業種類	単年度繰返事業
		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	2
基本事業コード	30401	基本事業名称	地域における子育ての支援	目コード	5
事務事業コード	3040119	事務事業名称	児童館管理費	細目コード	279280
関連計画	次世代育成支援地域行動計画		法令・条例規則等	新上五島町児童館条例	

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。							
対象:誰、何を対象にしているのか			対象指標:対象の大きさを表す指標						
(対象1)年間利用者数		(対象指標1)9,654人							
(対象2)		(対象指標2)							
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)						
(全体)		(評価年度実績)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****		児童館開館日数:292日 児童館年間利用者数:9,654人		*****	*****	*****	開館日数292日÷開	* * * * *	
				開館日数		292日	100%	館すべき日数292日	平成20年度
				①	(達成率分析)児童館を計画通り開館し、児童館事業を実施した。				
				②	(達成率分析)				
目的:何をしたいのか			成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)						
子育てサークル、母親クラブ、子ども会の地域活動及び児童の放課後の遊び場としての活動を行っている。				(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
				*****	*****	*****	利用者数9,654人÷前	*****	
				利用者数		9,654人	101%	年度実績数9,604人	平成20年度
				①	(達成率分析)高学年の児童の利用が減ったが、全体的には利用者の増が図られた。				
				②	(達成率分析)				

実施 (DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。											
	単位	全体計画		平成19年度以前	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 日	1,174	1,174	882	292	292					
	②										
成果指標	① 人	30,620	30,620	20,966	9,654	9,654					
	②										
総事業費C (A+B)		千円	25,623	25,623	16,683	8,940	8,940				
直接事業費 A		千円	21,423	21,423	13,883	7,540	7,540				
人件費 B		千円	4,200	4,200	2,800	1,400	1,400				
内訳	従事職員数	人	0.6	0.6	0.4	0.2	0.2				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源		千円	25,623	25,623	16,683	8,940	8,940				

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	児童に健全な遊びを与え、健康増進させる場所として必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	少子化の時代、子どもが孤立化しない様、遊びの場、出会いの場として必要な施設である。
	事業の対象・目的は適切ですか。	● 適切 ● 不適切	理由	児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し情操を豊かにすることを目的としており適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	条例の趣旨のとおり、児童の放課後の居場所として必要な活動が行われている。
	成果を向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	乳幼児から高齢者まで活動・交流の場として利用方法を検討する。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	● ある ● ない	理由	この地域において、子育て支援(児童の居場所づくり)の場がなくなることにより福祉が停滞する。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ● できない	理由	現在のところ同地域で同様の事業を行っていない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ● できない	理由	適切な児童館運営において、これ以上の削減は出来ない。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ● できない	理由	最少の人員で実施しているので、削減できない。
	受益者負担は適正ですか。	● はい ● いいえ	理由	場を提供するもので、利用料は無料である。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		有効性	乳幼児から高齢者まで活動・交流の場として利用方法を検討する。
		効率性	現制度の実施方法で良いと思うが、地域のボランティアサポーターの育成が課題である。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	児童館使用の利便性をたかめるとともに維持・管理に努めること。
		効率性	経費の執行については、適正に行い節減に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。